



平成22年10月8日
ウィンワークス株式会社

勤務シフト作成機能を拡充した
「WINWORKS™ One」ソフトウェアのバージョン2.4を提供開始
～自動作成時の条件違反への対応を簡便化～

ウィンワークス株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:渡邊邦昭、以下 ウィンワークス)は2010年10月8日より新機能を追加し、現場での勤務シフト自動作成をより一層便利にする勤務シフト管理ソフトウェア「WINWORKS™ One」のバージョン2.4を提供開始致しました。

本ソフトウェアは、従来経験や勘を頼りに多大な工数を費やしてきた要員配置計画の作成において、繁忙状況や売上などの実績と勤務条件の組合せを最適化したシフト表を完成させます。要員配置からムリ・ムダを排除し人件費を減らすと共に売上機会を最大化すると同時に、シフト表を自動作成することで、作成にかかる時間を削減し、スタッフの希望休日の実現による従業員満足の向上も同時に可能とします。

新バージョン提供開始の背景

WINWORKS One は膨大な数の勤務シフトの組み合わせの中から、勤務ルールに合致して最も効率の良い組み合わせを、整数計画法を適用して計算します。休暇の申請が重なった場合や、スタッフの個人的な希望により、公休の割当が変則的になるような場合、あらかじめ規定している勤務ルールに違反する場合があります。このような場合、WINWORKS One はルール違反のメッセージを出力し、違反となるルール、該当するスタッフや、該当する日を知らせます。WINWORKS One のユーザーの増加に伴い、様々なお客様が利用いただく中で、このようなケースが発生した場合に、現場が容易に対処できるようにしたいとの要望が増えてきました。

弊社はこの要望に対応するため、お客様の運用で発生するルール違反のケースを調査分析しました。その結果、ルール違反のケース全体の約50%が各スタッフ毎に設定している勤務日数と時間数の上下限に違反するケースであることがわかりました。

新バージョンの追加機能

この調査結果を踏まえ、勤務日数と時間数の上下限違反となった場合、ワンクリックでこの条件を緩和して再計算する機能を開発し、WINWORKS One バージョン 2.4 に追加することで現場での運用がさらに簡便になるようにしました。

■ 緩和再計算

- ルール違反メッセージに、その条件を緩和して再計算指示を選ぶためのチェックボックスを設けました
- 違反となったルールを当該スタッフのみについて緩和する場合、違反メッセージのチェックボックスをオンとした上で、再計算指示ボタンを押します
- WINWORKS One は指示されたスタッフについてのみ、上下限を緩和して勤務表を再作成します。この場合、できるだけ元の設定日数、または設定時間に近くなる勤務表を作成します

■ 緩和スタッフのハイライト表示

- 自動作成された勤務シフト表上で、設定してある勤務日数および勤務時間数の上下限を超えている場合、そのスタッフをハイライト表示し、注意を促します
- マニュアル操作で勤務シフト表を修正することで、勤務日数および勤務時間数が上下限の範囲内に収まった場合にハイライト表示をオフにします

この WINWORKS One バージョン2.4は同日をもってパートナー企業へも同時に提供を開始致しました。これにより、製品力の強化、パートナーとの協業など、更なる営業活動の拡大を見込みます。

尚、2010年11月5日に開催される社団法人日本オペレーションズリサーチ学会主催の2010年度 第1回 OR セミナー『最適化のモデリング、ソフトウェア、その最新動向』(<http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html>)において、本新機能を含む WINWORKS One の整数計画モデルについて解説します。

ウィンワークス株式会社について

ウィンワークスはピープル・パフォーマンス・マネジメント（PPM）のコンセプトのもと、時間帯毎および日毎に大きく変動するサービス要求に対応するために、最適な人的資源の配分を行い企業の経営効率を高め、グローバル競争を勝ち抜く経営変革の実現を支援するソフトウェア・ソリューションを提供しています。ウィンワークスの先端的なテクノロジーと、ソリューションを活用し経営効率を改善するノウハウは、特にサービスの質を重視するビジネスのお客様から大変高い評価を頂いています。詳しくは <http://www.win-works.com> をご覧ください。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

ウィンワークス株式会社 森

電話：(03)3503－5262

Eメール：pr@win-works.com